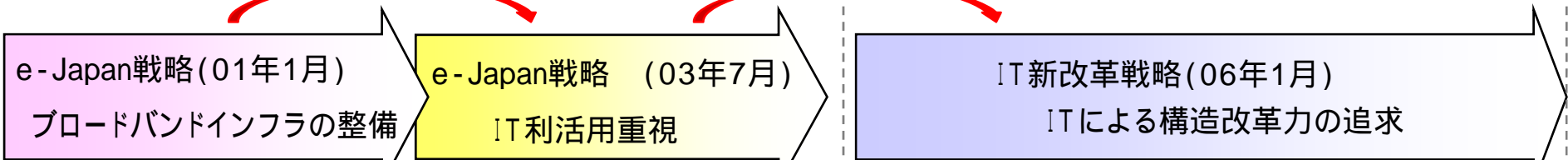


我が国のICT戦略の推移

2001 ~ 2005 ~ 2010 2011

2005年までに世界最先端のIT国家を実現
2010年いつでも、どこでも、誰でもITの恩恵を実感できる社会の実現

インフラから利活用へ ITによる社会課題の解決



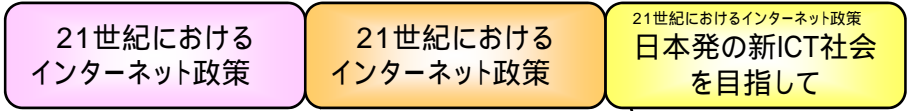
貢献
インフラ
2005年のインターネット環境整備
・高速 3,000万世帯
・超高速 1,000万世帯
電子商取引、電子政府、人材

貢献
eからuへの進化
先導7分野でのIT利活用の促進
医療、食、生活
中小企業金融、知
就労・労働、行政サービス

貢献
ITによる医療の構造改革
ITを駆使した環境配慮型社会
世界に誇れる安全で安心な社会
世界一安全な道路交通社会
世界一便利で効率的な電子行政
IT経営の確立による企業の競争力強化
生涯を通じた豊かな生活

総務省の情報通信政策 (ビジョン)

情報通信審議会答申(01年7月、02年8月、03年7月)



インターネット利用の高度化
インターネット基盤の高度化
インターネット利用・基盤の高度化

コンテンツ流通の促進
IPv6の利用促進
IPv6を備えたインターネット基盤への移行
コンテンツ流通・IPv6の利用促進

本格的な利用拡大を目指す第二段階のICT社会へ
我が国の特徴・強さを活かした日本発のICT社会を世界に提示
本格的な利用拡大へ

総務省のu-Japan政策(04年12月)
ユビキタスネット社会の実現
(「いつでも、どこでも、誰でも、何でも」ネットワークに簡単につながる社会の実現)

シームレスなユビキタス基盤の整備(ブロードバンドからユビキタスへ)
21世紀の課題解決にICTを利活用(電子化促進から課題解決へ)
ICTの利用環境整備の推進(安心・安全の抜本強化)

通信・放送分野の改革に関する工程プログラム(06年9月)
ICT国際競争力強化プログラム(07年5月)

「ICT成長力強化プラン(仮称)」(08年7月?)

完全デジタル元年